

# 『元気あふれる高齢者の体づくり』講演会

☎ 富士見町地域包括支援センター ☎62-8200

高齢になっても、自分のしたい活動や、あたりまえの生活を継続するため、効果的な運動方法について学ぶ講演会です。

- ◇日 時：平成28年11月26日 土曜日  
午後1時30分～午後3時45分（午後1時開場）
- ◇会 場：富士見町コミュニティ・プラザ 大会議室【参加費無料】
- ◇内 容：13:30 「平成29年度からの介護保険と富士見町」について  
14:00 講演 「元気あふれる高齢者の体づくり」について  
～日常生活に活かせる「運動」について学びましょう～  
講師 金城大学 医療健康学部 教授 木林 勉 先生  
（講師資格）保健学博士、理学療法士、呼吸療法認定士  
（日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・  
日本麻酔学会合同）、介護支援専門員、福祉用具プランナー講師
- ◇主 催：富士見町地域包括支援センター（住民福祉課介護高齢者係）



## —消費者見守り情報 No.69—

～高齢者を狙った特殊詐欺が多発～

☎ 住民福祉課 住民係 ☎62-9112 または 茅野市消費生活センター ☎72-2101（内線）256

このコーナーでも何度か掲載していますが、高齢者をターゲットとした特殊詐欺被害は依然として多く、深刻な状況が続いています。

平成27年度に長野県の消費生活センターに寄せられた消費生活相談のうち、60歳以上の方が当事者となった相談が全相談の4割を占めており、多くが「悪質商法」と「特殊詐欺」の関係事案となっています。

本年度も同様な傾向が続いており、高齢者を狙った特殊詐欺が相当数発生しています。ある調査によると9月中の覚知（警察や公的機関へ通報があったもの）件数は12件でしたが、10月は始めの1週間で10件となっており、今後のさらなる件数増加が懸念されています。

手口的に見てみると9月は、還付金詐欺が5件（42%）、オレオレ詐欺が3件（25%）、公的機関の職員（警察官や生活センター等職員）を名乗る者による詐欺が4件（33%）となっていました。10月は、還付金詐欺が4件（40%）、オレオレ詐欺が3件（30%）、架空請求詐欺が1件（10%）、公的機関の職員（警察官や生活センター等職員）を名乗る者による詐欺が2件（20%）となっています。手口の種類については大きな差は見られませんでした。

少年期から壮年期については、アプローチの手法はメールが中心となっていますが、高齢者に対しては、まだ電話によるアプローチが主流となっているようです。

電話によるアプローチが高齢者に対して効果的な点としては、①相手の顔が見えないことから成り済ますことが比較的容易である ②専門的な用語をちりばめれば相手を煙にまいて自分のペースに巻き込みやすい ③高齢者は簡単に電話を切ることが少ない ④世間話により親近感を持たすことが容易である ⑤利益をちらつかせたり、特別感を演出することにより、話に引き込みやすい ⑥その場で判断をすることに躊躇しがちであり、結論を変えやすくこちら側に引き込みやすい など詐欺を行う者にとって扱いやすい（だましやすい）ことが大きい。高齢者の皆さんは、自分は簡単にだまされないと考え、自分だけで解決することを選びがちですが、相手はプロです。人をだますことを仕事としています。一人では勝てないと考えて下さい。

富士見町では特殊詐欺被害防止機器（自動通話録音装置）の設置経費に対する補助事業を行っています。この機器は設置が簡単で、詐欺行為を考えている相手が、自ら電話を切る等の被害防止効果が期待できます。

わずかな自己負担で大きな効果が期待できます。

ぜひ設置のご検討をお願いします。

ボタン設置で  
電話犯罪をブロック!!

録音! 警告! 電話許可・拒否!

